

学校だより

# 豊かつ子



喜多方市立豊川小学校  
令和3年10月12日(火)  
発行者 校長 遠藤 信恵  
第12号

【教育目標】 健康で自らを育てる 心豊かな児童の育成  
◎ (心も体も) つよい子 ◎ (自然と友達に) やさしい子 ◎ (真剣に) まなぶ子

## 協力し合って楽しく活動！ ～自然体験学習4・5年生～

9月28日(火)には4年生が、28日(火)と29日(水)には5年生が、会津自然の家において自然体験学習を行いました。当初、5年生は一泊二日の宿泊体験学習を予定していましたが、感染症拡大防止のため、残念ながら日帰りで2日間の自然体験学習になってしまいました。

1日目は4年生と5年生が協力し合って、豊かな自然の中で宇宙大作戦やフ ィールドアスレチックの活動に汗を流し、2日目は5年生がUF0ゴルフとカヌーを体験しました。帰校式では、日焼けして少し疲れた表情も見えた子ども達ですが、「協力し合って活動できて楽しかった。」という感想を聞くことができました。2日間とも素晴らしいお天気に恵まれ、自然の中で思いっきり体を動かし、楽しく充実した自然体験学習になりました。

保護者の皆様には、準備や体調管理等にご協力いただきありがとうございました。また、5年生の保護者の皆様には、宿泊から日帰りへの変更やバス代の増額等にご理解とご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。



【ロープが命綱！】



【息を合わせて1・2・1・2】



【う、う、腕が疲れる～。】



【宇宙人を倒すぞ！】

## 木に親しみ木を大切に作る心を育てる！ ～森林環境学習1・2年生～

福島県の森林は県土の約7%を占め、豊かな自然環境を生み出しています。この豊かな森林を保全し、次世代の子どもたちへ責任を持って引き継いでいくことを目的として、福島県では平成18年度から森林環境税を導入し、そこから補助を受けて森林環境学習が実施されています。



【森の案内人と一緒に散策】

9月29日(水)、1・2年生が会津自然の家で森林環境学習を行いました。午前中は「森の案内人」の方から、森林の役割や森林と私達との関わりなどを教えていただき、自然を散策しながら木の実や枝を拾ってきました。午後は用意された木材と拾ってきた木の実等を使って、木くん(もっくん)キーホルダーを作りました。工夫を凝らし、ステキなキーホルダーが出来上がって大満足の子ども達。森林についての学びや木工体験を通して、自然や環境問題に関心をもつきっかけになればと思います。



【キーホルダーの完成】

## 受賞おめでとう！



◇耶麻地区理科研究作品展

入選 2年 新国小百合さん 研究主題「氷のふしぎ ～なん時間でこおるのか?～」

佳作 2年 江川 友香 さん、4年 中川 航佑 さん、4年 渡部 礼士 さん

佳作 5年 戸田 楓芽 さん、5年 佐藤 龍聖 さん、6年 新国 陽士 さん

## 黄金色の稲を収穫、脱穀 ～農業科5・6年生～



秋晴れの下、9月30日（木）に稲刈りを行いました。農業科支援員の只浦さんと手代木さんから稲の刈り取りや乾燥の仕方についてお話を伺い、まだ十分に実の入らない一部の稲を残して、黄金色の稲を鎌で刈り取り、麻ひもで縛り、棒に掛ける（さでがけ）作業を、協力し合いながら行いました。最後に、田んぼに落ちた稲の一本一本も大切に集めました。



【一束ずつ鎌で刈り取る】

10月7日（木）には、脱穀を行いました。まずは昔の足踏み脱穀機を使ってみると、うまく回らずに逆回転になったり、稲が持っていかれそうになったり。次にコンバインで脱穀すると、あっという間に脱穀されていく様子に感嘆する子ども達。先人達の苦労を改めて実感する体験でした。

今回、刈り取りが遅れた稲は、近くの街灯の明かりで夜も明るく照らされていたために花が咲くのが遅れたことを、手代木さんから教えていただきました。人間の生活が自然界に与える影響について知ることができ、貴重な学びになりました。



【足踏み脱穀機に苦戦！】

## 学力向上をめざす校内研修の取組 ～第4回授業研究会～

6日（水）、3年生で算数科の研究授業を行いました。今回は、「 $69 \div 3$ は、どうやって計算すれば答えが求められるか。」について考えました。69を60と9に分ければ、これまで学習した方法で計算できることを全員で確認すると、まずは、一人一人が図や式を使って答えを導き出しました。次に、代表児童がホワイトボードに書いた式や図を、複数の子ども達が説明したり補足したりしながら、共通点を見いだしていきました。さらには、4人で話し合い、

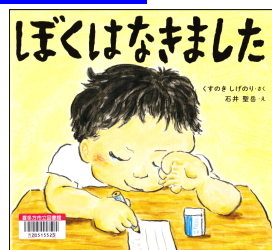


【考え方を説明し合う】

ペアで交互に説明し合うなど、何度も根拠を明らかにしながら話したり説明したりすることで、理解を確かなものにしていく様子が見て取れました。最後に練習問題を終えた子ども達は、タブレットを使って別な問題に挑戦しました。授業の中で、ほぼ全員の子ども達に発言や発表など活躍の場があり、意欲的に学び合う姿がとても印象的な授業でした。

## 自分の「いいところ」は、自分への自信につながる！

『ぼくはなきました』という絵本をご存知でしょうか？あらすじは、参観日に自分のいいところを発表することになった僕。しかし、いくら考えても思い出すのは友だちのいいところばかり。「やっぱり僕なんていいところがないんだ。」と泣きそうになった僕に先生が教えてくれたのは、「友だちのいいところをたくさん見つけられるのが、いいところですよ。」という、自分ではわからなかった僕のいいところ！というお話です。



8日（金）の校長講話では、この『ぼくはなきました』という絵本の読み聞かせを行いました。その後、学級で全員に「自分のいいところ」を書いてもらいました。すばらしいことに、全員が「自分のいいところ」を自分で考えてしっかりと書くことができました。この絵本の帯には「なにかひとつに自信があれば、それだけで生きていける。」と書かれています。「自信」とは自分を信じられるということです。自分のいいところを自覚できれば、自分を信じて生きていけるということではないでしょうか。「じぶんのいいところ」は、将来の生き方や職業につながっていきます。ぜひ、ご家庭でもお子様の「いいところ」を話題にいただき、「自信」につなげていただければと思います。

（この絵本は、新聞でも紹介されました。喜多方市立図書館で借りられます。）

**お知らせ** 福島民報新聞の記事『ふくしまは負けない明日へ』の題字に、6年生の須田結奈さんが書いた文字が、10月31日までの1ヶ月間、掲載されます。ぜひご覧ください。